

岐阜信用金庫は、顧客から受け取る手数料の一部を地域社会の課題解決のため教育機関や自治体に寄付する「ぎふしんSDGsシンジケート・ローン」の取り扱いを始めた。持続可能な開発目標(SDGs)に資する寄付を取り入れたシンジケートローンの取り扱いは、全国の信用金庫と東海3県の金融機関で初めて。

健康診断などを行う一般財団法人岐阜健康管理センター(美濃加茂市西町)に5億円

SDGsシンジケート・ローン

岐阜信金が取り扱い

手数料の一部 自治体に寄付

を9月30日付で融資した。岐阜信金のほか県内二つの金融機関の計3者による協調融資。センターは調達資金を活用し、11月に大垣市内で大垣健診プラザを移転新築する。ぎふしんSDGsシンジケート・ローンは、手数料の一部を、岐阜信金が現金か品物に代えて顧客の指定する自治体などの相手先に寄付する。